



歯と口の健康に関する「図画・ポスター、習字」熊本県知事賞 天草市立浦和小学校 園田 真土夏 様

熊本県歯科医師会



一表紙に寄せて一

今年の熊本県 知事賞の作品で す。画面いっぱい に元気があらわ れています。(H.K)



2013

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃 より歯科医学および歯科医療 の研鑽を通じて培った知識や 技術をもって、人々の健康の 回復と疾病の予防のために貢 献するものである。

自己の知識、 専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、 実践に務める。 の健康向上のために努める。 を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。 技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民

専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の

もくじ

巻頭言(常務理事 八木 義博)3
理事会4 · 5
委員会だより·····6 (学術)
つどい・・・・・・ 7
郡市会だより (宇土、人吉、天草、玉名、荒尾、人吉、熊本)・・・・8~11
新入会員
会務報告・・・・・・・ 13・14

公益社团法人 日本歯科医師会

常に愛情

H.25.6

一般社団法人に移行して



常務理事 八木 義博



熊本県歯科医師会は、今般の公益法人制度改革を踏まえ、4月1日に一般社団法人への移行登記が完了しました。もっとも、登記日を同日限定とする諸団体からの申請が殺到していたらしく、法務局から登記完了の連絡が入ったのは4月末のことでしたが、何はともあれ一安心というところです。

当然のことながら、ここに至るまでには多くの時間と労力、そして少なからずの経費を必要としました。具体的な作業としては、会員の先生方への説明、公益社団・一般社団のどちらを選択するかの検討、機関決定、定款や諸規則・規程改正案の作成、会計上の事業区分の見直し、会計様式の新新基準への変更(24年度会計から実施)等々です。本格的な準備作業の開始は、22年度の「新法人設立検討臨時委員会」の設置からですので、丸三年の期間を費やしたことになります。その間、「定款及び諸規則検討臨時委員会」やその他の打ち合わせ会等を合わせると、会議の開催数は数十回に達しています。これに係わってこられた多くの会員の先生方、そして煩雑で膨大な作業を確実に完遂していただいた事務局の方々に感謝と畏敬の念を抱かずにはおられません。

一方、日本歯科医師会も同日、公益社団法人に移行しました。県歯会が公益社団への移行を目指す場合の最大のハードルは「公益目的事業比率50%以上」という要件で、その中でも、組織の安定継続のためには、会計規模の大きい県歯共済互助が自主運営のもと、公益目的事業と認められることが必要でした。再三に渡り県庁担当課への説明、要望を行いましたが、県内においてはどの団体に対しても同じ判断基準とのことで認められませんでした。しかしこれが、内閣府との折衝を行った日歯の場合はクリアーし、莫大な会計規模の日歯福祉共済は公益目的事業となり(給付面等での譲歩を余儀なくされましたが)、予算ベースでの公益目的事業比率は90%超という驚くべきものでした。とても同じ法制度の元での判断とは思えず、理不尽さを感じずにはおられません。もっとも、全国的に見れば予定も含めて、7都県歯が公益社団、40道府県歯が一般社団に移行するそうで、本県だけが特異なケースというわけではないようですが。

また、県内の医療・保健・福祉系他団体に目を向けると、公益社団の方がかなり多いようで、何となく居心地の悪さを感じるのも事実です。

今後も公益社団への移行は、常に視野に入れてお く必要があるようです。

とはいうものの、以前から説明していますように、公益社団に移行しようが一般社団に移行しようが、県歯会の考え方、あり方が変わるものではありません。定時代議員会以降に発足する新執行部には、これまでと同様に歯科医師としての矜持をもち、全会員と一丸となって会務を遂行していただけるものと確信しています。





2年3ヶ月の会務執行に感謝

一第2回理事会一

5月22日(水)午後7時より県歯会館第1会議室において、浦田会長ほか全役員・伊藤学院 長出席のもと、議長を浦田会長、議事録署名人を冨屋、大林両理事として第2回理事会が開催 された。

開 会:中嶋副会長 挨 拶:浦田会長

6月の定時代議員会に向けて最後の理事会 を開催しますが、今日が現執行部において、 実質的に最後の理事会となりますので、少し 早いですがお礼の挨拶をいたします。役員の 先生方におかれましては、一般社団への移行 もあり2年と3ヶ月という変則的な任期では ありましたが、任務を全力で遂行していただ きましてありがとうございました。4年前に 会長となり会の運営をお預かりするようになっ てから、いろいろと会務執行について考えて まいりました。特に歯科医師会の役割として 公益性と共益性のバランスをどのように取る か、その中で公益であっても共益に結びつく こと、共益であっても公益に結びつくことが あるのではないかと模索し、先生方にもご相 談しながら進めてまいりました。各担当の立 場からいろいろなご意見やアイデアを出して いただき、滞りなく会務を執行出来たことに 深く感謝申し上げます。次期も会長予備選挙 に当選しまして、会の運営をお預かりする予 定です。役員の先生方の中には退任される方 もいらっしゃると思いますが、今後もいろい ろな立場でご協力をよろしくお願いいたしま す。

会務報告: (自: 4月22日~至: 5月19日) 本会総務: 理事会、常務理事会、役員等選挙、

災害対策検討臨時委員会、くま歯

キャラバン隊

学 術:バイタルサインセミナー

社会保険:レセプト事前チェックセンター



地域保健:リレー・フォー・ライフジャパン

くまもと、日本糖尿病学会年次学

術集会

広 報:会報編集・校正、テレメッセ打合せ

学校歯科:フッ化物洗口推進アドバイザー

医療対策:医療相談苦情事例報告

センター・介護:県重症心身障害児(者)を

守る会記念講演

総務・厚生:ガイドブック

学 院:運営審議会国 保:全協理事会

以上、各担当役員より報告がなされた。

会務報告その2:

- 1. 関係機関・団体からの役員等の推薦依頼
- ・ "社会を明るくする運動" 熊本県推進委員 会/熊本保護観察所

浦田 健二 会長

任期:平成25年4月1日~26年3月31日

· 熊本県防災会議委員/熊本県知事公室危機 管理防災課

浦田 健二 会長

任期:平成25年4月1日~平成27年3月31日

· 熊本県国民保護協議会委員/熊本県知事公

室危機管理防災課

浦田 健二 会長

任期:平成25年4月1日~平成27年3月31日

2. 名義後援使用依頼

- ·第52回熊本県学校保健研究協議会/熊本県 学校保健会
- ・第63、64、65回熊本県有病者歯科医療研究 会・講演会
- ・受動喫煙防止要望街頭署名活動/くまもと 禁煙推進フォーラム

3. 本会の一般社団法人移行登記完了

5月1日に熊本地方法務局より、4月1日 付の移行登記が完了した旨の連絡を受け、同 日、電子申請により熊本県庁へ移行登記完了 届出書を送付した。

4. 平成25年度熊本県歯・口の健康づくり推進事業に係る「フッ化物洗口推進アドバイザー」の推薦依頼

学校におけるフッ化物洗口を推進させる目的として、県教育庁体育保健課からのアドバイザー選任依頼に対して、各郡市歯科医師会より推薦のあった10名の会員がフッ化物洗口推進アドバイザーに決定した。

5. 災害時優先電話の設置

本会が災害対策基本法に基づく指定地方公 共機関の指定を受けたことに伴い、災害時優 先電話を設置することとし、現在の連盟用の 回線を災害時優先電話回線に変更する。

6. 委員会事業企画

- ・センター・介護委員会:「摂食・嚥下研修 会」(8月10日)
- 7. 会計 4 月末現況
- 8. 6月行事予定
- 9. その他
- ○平成26年2月2日(日)に日本プライマリ・ ケア連合学会九州支部総会が本県で開催され、本会からも講師派遣等を行い参画する。
- ○4月のがん連携事業の紹介患者は7名であった。

協 議:

1. 新入会員の承認〔承認〕

関 勝宏 (熊本市/第1種)、藤本 敦仁 (山鹿市/第1種)、新谷 康之 (菊池郡市/ 第1種) 計3名の入会を承認した。

- 2. 歯科医師の行政処分に対する意見〔承認〕 過去の事例を参考として作成した意見書を もって回答することとした。
- 3. 会長予備選挙当選者が推薦した理事候補 者の定時代議員会への上程〔承認〕

6月22日(土)に開催する定時代議員会の 議案として上程することとした。

- 4. 平成25年度定時代議員会日程の次第及び 報告・議事・協議〔承認〕 原案どおり承認した。
- 5. 平成25年度九地連協議会等の運営〔承認〕 本県担当で8月3日(土)にホテルキャッスルにおいて開催する。スケジュールを原案 どおり承認し、当日は本会役員全員が出席することとした。
- 6. 日本学校歯科医会の代表会員・予備代表 会員の選任〔承認〕

次期の学校歯科担当理事と常務理事以上の 学校歯科担当者を充てることとし、6月22日 に次期役員が決定した段階でどちらが代表会 員、予備代表会員に就任するか調整すること とした。

7. 電子媒体による会員名簿の提供依頼

〔承認〕

建設連合国民健康保険組合からの歯科健診 実施に伴う依頼に基づき、電子データを提供 することとした。

8. 熊本県からの歯科医療における医療安全 管理に係る情報提供〔承認〕

県からの情報提供も踏まえて、注意喚起する文書を会員へ送付することとした。

9. 一般社団法人熊本県歯科医師会安心・安 全歯科医療推進制度運営規程の一部修正 〔継続〕

6月の定時代議員会に修正案を協議として 提出し、その時の意見を踏まえて再度検討す ることとした。

 4 階ホール専用プロジェクターの購入 (承認)

今までどおり天井から吊り下げる方式を採用し、見積書どおりの機種を購入することと した。

監事講評:片山監事、西野監事

閉 会:小島副会長

(広報 加藤 久雄)



安全な歯科医療を提供するために

— バイタルサインセミナー —

学術委員会

5月12日(日)午前10時より、県歯会館4 階ホールにて261名の参加者のもと、バイタ ルサインセミナーが開催された。本セミナー は、安心・安全歯科医療推進制度必須講演会 であり、医療従事者の医療安全についての講 習会及び歯科外来診療環境体制加算の施設基 準に係る研修会でもある。浦田会長の挨拶後、 日本歯科麻酔学会会員冨永晋二地域医療委員 より、当セミナーの主旨説明があった。続い て「安全な歯科診療に必要なバイタルサイン の評価と緊急時の対処法」の演題で、福岡歯 科大学麻酔管理学分野 谷口省吾教授により、 歯科治療時の偶発症の現状・バイタルサイン・ モニターの有用性・偶発症発症時の対策・歯 科外来診療環境体制加算・緊急薬剤解説・医 療安全について講演があった。特に強調され た内容は

- 1. 合併症の発症時期は局所麻酔施行時であり、緊急時の状態評価に有用な情報を 見逃してはならない。所見の中に発疹が あればアナフィラキシーショックの鑑別 診断になる。
- 2. バイタルサインでは、特にみるべきと ころは呼吸の数、深さ(2回の過換気)、 リズムである。
- 3. 脈拍が触知しやすいのは撓骨動脈や上腕動脈より頸動脈であり、その触知法は指2、3本で甲状軟骨の位置を確認し、その脇の胸鎖乳突筋との溝を滑らせる。
- 4. 血圧測定時、マンシェットを緩く巻く と血圧が高めに測定される。
- 5. バイタルサインは有効であるが限界もあるため、モニターを使用することで確実性が増し、施術中の事故が減る。同時に、記録が残せるため訴訟にも重要なデータとなる。
- 6. パルスオキシメーターの使用方法と必要性について。指先が冷たい時や血圧が下がっていると測定不可である。不整脈時には指先脈波も不整になり、不整脈の診断にも有効である



活発な質問、意見交換が行われた

歯科治療時の緊急事態の具体例とその処置 方法

もっとも遭遇しやすい血圧上昇の原因と対処法については、例えば舌下に使用していたアダラートは急激な血圧降下が懸念されるため、今は内服として使う。また、呼吸困難を主訴とする疾患(気道異物、過換気症候群、気管支喘息、気胸、肺塞栓症、狭心症、パニック障害など)の鑑別診断としての症状の違い、例えば窒息時のサインは普通の呼吸と逆で奇異呼吸(シーソー呼吸)になる。

歯科外来診療環境体制加算の施設基準で必要な酸素ボンベの使用法

酸素投与により状態を改善するためには、 圧力計で残量を調べることが必要になるが、 1番重要なことは何ℓ流れているかを見るこ とである。続いて救急薬剤の解説がなされた が、経験があれば静注は即効性があるので有 効であるが、あくまでも筋注と経口投与を原 則とし、薬剤の使用方法の説明がなされた。 いずれにせよ緊急な偶発症への対応は、スタッ フ応援依頼、正確なバイタルサイン、処置と しては水平にし、血圧が下がったら下肢を上 げる。酸素投与、救急薬品の使用、又器具と しては血圧計、パルスオキシメーター、心電 図、AEDなどを使用し、速やかに連携病院 への連絡、緊急搬送していくことの必要性を 再度強調された。以上を的確かつスピィーディ に判断し、器具、薬品を正確に使用できるよ

H.25.6 熊歯会報

うにし、そのためには、日頃からの歯科医院 組織の意識の向上とトレーニング、ダブルチェッ クなどの細心の注意を払うことで、人間の犯 す過誤(システムエラー、ヒューマンエラー) を無くしていかなければならない。

後半は谷口教授、冨永委員、県学術堀川正

委員を中心に総合討論会が進行された。会場からも活発な質問、意見交換もなされた。講演の前後にはプレ・ポストアンケートが配られ、二度記入することで、より深く講演の内容、緊急処置を把握でき、充実した講演会であった。 (学術 城井かおり)



九地連に向けて頑張るぞ!

一 3 県対抗テニス大会 ―



4月20(土)、21日(日)に3県(熊本、 鹿児島、宮崎)対抗テニス大会が、宮崎県歯 科医師会主催で都城市にて開催された。

いつもは日曜日のテニス大会だけなのですが、 今回は宮崎県の希望もあり土曜日のテニスと 夜の懇親会も追加されることになりました。

土曜日は生憎の雨模様、当然テニスは中止 と思い懇親会に間に合えば良いかなという気 持ちでいると、現地の担当者から電話があり 「雨は降っているけどテニスできますよ」との こと、半信半疑で都城を目指すことになった。

熊本チームで土曜テニスをするのは山根、城井会員と飯田の3人。到着するとやはり雨が少し降っていて、残り時間は30分しか無かったのですが、宮崎の先生が「テニスしてビールをおいしくしましょう」の一言でとりあえずひと汗かくことにしました。

テニスの後、汗も流さないとビールが美味 しくないということで、時間が無いのにシャ ワーを浴び、ここから合流の高松、山口一彦 会員と懇親会(これが本番?)の会場に向い ました。

懇親会は焼き肉。熊本チームの大好物です。 都城は牛を飼育して松坂などに売っている程 の産地という事でテンションは上がり、さら に地元の先生推薦の優良店という事でほとん どMAX状態に。そして、1杯目のビール。 体に浸みわたり最高!。肉も美味しく、たまりません。ただ、宮崎、鹿児島チームの先生があまりガツガツ食べない(草食系?)ので、こっちも何故かテンションダウン。

やはり焼き肉はみんなでガツガツいきたいですね。

1次会が終了し2次会へ、ここでも酒をたらふく飲んで1日目は終了。

2日目に突入、ここからが本当の本番です。 ここからの参加は友枝、大塚、木村、小野 先生と助っ人森山(衛生士)さん。

第1試合は鹿児島戦。布陣は高松・山口一彦、山根・飯田、友枝・大塚、木村・小野、城井・森山の計5ペア。注目は高松・山口ペア。今年の九地連でもペアを組む可能性が高いという事で皆の視線が熱い中、2日酔いにもかかわらず確実に勝利を収めたのは流石です。他の皆もがんばり鹿児島戦は勝利。2試合目は宮崎戦。友枝・小野、大塚・木村の2ペアが変更になり、他は同じ。

ここも皆の奮闘で勝利となりました。

主力 2 人を欠くなかでの 3 県対抗優勝は、 九地連での覇権奪還に燃えているチームにとっ てはこの上ないモチベーションになったので はないでしょうか。

九地連に向けて皆で頑張るぞー!

(飯田 誠治)

郡市会がより

行政としっかり協力し取り組む

通常総会 -

宇土

3月30日(土)午後4時 より、宇土市新小路町の和 食割烹「三万石」において、 平成24年度通常総会が開催 された。

県歯より八木常務理事をお招きし、森専務理事の進行のもと、まずは中村会長の挨拶から始まり、大矢野の先生方の移動の件がいよいよ来年度に迫ってきたことや学校歯科保健と連携しながらのフッ化物洗口実施についてなど、今後行政と協力し、しっかり取り組んでいかなければならないだろうと述べられた。

その後、報告に移り、①新入会員の近藤先生の紹介及び挨拶、②会務、③県歯通常代議員会(森専務理事より)、④県歯国保組合(村田会員)、⑤熊本県がん患者医科歯科医療連携事業への参加の呼びかけ(中村会長)、⑥社保担当理事の勇会員よりレセプトについてやカルテの記入の際の注意点など説明があった。次に、議事について話し合い、次期会長は引き続き中村会長、監事に杉村会員と古田



田中新副会長による乾杯の挨拶

会員が推薦され、第1号~第5号議案まですべて満場一致で承認可決された。

協議に移り、県歯役員・代議員任期変更に伴う郡市の対応について県歯八木常務理事より説明があり、質疑応答がなされた。総会終了後、歯科医師政治連盟活動費決算の報告があり、本日の全ての内容が終了した。懇親会に席を移し、お酒を交えながら夜の宴が始まって今日一日の締めくくりとなった。

(坂口 泰子)

すべての議案を承認可決

人吉

— 通常総会 —

3月30日(土)午後3時より「あゆの里」にておいて

平成24年度人吉市歯科医師会通常総会が開催された。入江正昭会員を議長とし、與田副会長の開会の辞、今藤会長の挨拶後、報告事項として、中原専務理事による会務報告、各委員会報告、会計報告、通常代議員会報告、新大に議事に移り、第1号議案から第5号議案まで承認可決された。協議では 終身会員の会費の納入開始時期について話し合われ、與田副会長の閉会の辞にて無事終了し、その後当宴会場にて懇親



多くの報告があった

会が行われた。

(瀬戸 雄行)

H.25.6



次則会長区山本源治現副会長

— 通常総会 –

天草

4月13日(土)午後3時より肥後銀行天草支店3F会議室にて天草郡市歯科医師会通常総会が行われた。本年度は役員改選の年であり様々な議題が話し合われた。

まず久々山会長による会長挨拶があり、その後に各役員、委員による報告が行われた。

その後平成24年度決算案の承認と会計監査報告、平成25年度事業計画案の承認、平成25年度予算案の承認などの議事が話し合われた。それから役員の選出が行われ、次期会長には山本源治現副会長、次期監事には中嶋敬介、松田教裕両理事が就任されることになった。その後かねてより懸案であった大矢野地区会員の移籍に関する事項が説明された。また少子化に伴う学校の統合再編により学校歯科医



様々な議題が話し合われた

の再編の検討についても議題としてあがった。 それからお忙しい中に県歯から浦田健二会 長、渡辺賢治専務理事にお出でいただき、県 歯の現状、連盟等の話があった。

(槌本亮二郎)

決意を新定区新執行部の船出!

玉名

4月23日 (火) 7時30分より、玉名司ロイヤルホテ

ルにて森 隆文新会長のもと新執行部・委員会メンバーの紹介、引継ぎ会が開催された。会員49名の内、30数名の中堅会員を中心に委員会が構成され、二つの委員会兼任の若手会員もいた。「玉名郡市歯科医師会」は地域保健、学術、社保、学校歯科、厚生、医療対策、広報と今年度から「在宅・介護」の委員会が加わり、合計9つの委員会で業務を行う。新しい委員は前任者から引継ぎを真剣に行なっていた。

本会も49名中、約半数の会員が60歳以上となってきたり、土曜日の午後まで診療する会員も多くなり、諸行事や講演会、勉強会等の出席者も減少してきている。これから会員49

-- 新旧執行部委員会引き継ぎ会 -



真剣な表情の新旧委員

名一丸となって協力して、「玉名郡市歯科医師会」を盛り立てていこうと、各委員は改めて強い決意を持ったように感じた集まりだった。

(春野 惟一)



金で承認可決

- 定期総会と研修会 -

荒尾

4月25日(木)午後7時 より荒尾市役所において、 平成24年度荒尾市地域保健 医療福祉推進協議会定期総 会及び研修会が開催された。 本協議会は、荒尾市にお

ける保健・医療・福祉の関係機関相互の連携 を図ると共に、地域の特性に応じた保健・医療・福祉を総合的に推進することを目的としたもので医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係団体と市行政機関によって構成されている。

総会は会長挨拶、議長選出の後、平成24年 度事業、決算、監査報告、平成25年度事業計 画(案)予算(案)、第10回健康福祉まつり についてそれぞれ報告、協議の後、すべて無 事承認可決された。

その後、熊本赤十字病院社会課長の薬剤師である西村真理子氏により、「熊本県の移植医療の現状と問題点」という演題で研修会を行った。腎臓移植を中心とした講演内容の中で糖尿病に代表される腎臓疾患は歯周疾患と同様に慢性疾患で、そのために人工透析を受



移植医療を説明される西村氏

けている患者とかかる医療費は右肩上がりに増加し続けている現状である。腎臓移植を受けることにより10年間透析を受け続けた場合より総額2500万円の医療費削減につながる。また、現在腎臓移植の生着率は高水準であり、決して特化した医療では無くなってきている。是非臓器移植提供意志表示カード(運転免許証や健康保険証にも記載欄有り)の記載&所持をお願いしたいということであった。

(坂田 輝之)

神教》を呼ばれた

人吉

5月10(金)午後7時30 分より人吉市のサンホテル

にて県歯学術委員会の椿 誠理事とセンター・ 介護委員会の松本信久理事を迎えて研修会が 開催された。



「歯周病と全身疾患」を 解説する椿理事

た。また会員にとっても自身の経験された症

— くま歯キャラバン隊研修会 —

例やトラブル等の参考になる内容が紹介され た。



口腔ケアの実際について 松本理事

について自身の経験を交えての興味深い内容だった。講演後の質疑応答でも会員だけでなくスタッフからの質問もあり、有意義な研修会となった。 (湯本光一郎)

H.25.6



三叉神経。音神経障害への対処法

— 第1回学術講演会 -

熊本



5月18日(土)午後3時より県歯会館市会議室におり県歯会館市会議室において、和歌山県立医科大学口腔顎顔面外科学講座の開茂之教授をお招きし「双き技歯後の三叉社会をおきなべき抜歯後の三叉社会と題し講演があった。会場と題し講演があった。会場となった。藤田教授は、術の第一人者であり、現在まないのであり、現在は、ないないのでは、

適切な診断と対応が重要 数多くの神経吻合術を経験されている。今回、全国で生じている舌神経麻痺や三叉神経麻痺などの神経障害に対し、その予防法や神経障害の診断法、普及さらには神経吻合術の適応症などの知識を普及された。 経吻合術の適応症などの知識を普及された。 にまなどの神経障害の診断法、 経吻合術の適応症などの知識をがしてる。 は主に舌神経の障害を全回に話がりは主に舌神経の障害を発の障害は当りないが、起こると味覚麻痺や感覚麻痺による舌の咬傷などの大きな問題が生じる子のによる舌の下側をでいる。 とを自然を表している。 とを目的としている。 とを目的としてこの講演を企画された。 は少ないが、起こると味覚麻痺や感覚ないが、起こると味覚、といいで傷などの大きな問題が生じる大きな問題が生じる。 による舌ので傷などの大きな問題遠心を表し、とで傷力はない。 と、智歯抜歯時切開線の誤りや歯冠分割の際にバーで傷つけてしまう可能性があること



活発な質疑応答が行われた

を意識しておく必要がある。このような神経 損傷に対しては、早期に神経吻合術を行うこ とで、神経の回復を期待することができる。 くれぐれも漫然と投薬を続けてしまい、長期 化させないようにすることが大事である。下 歯槽神経の吻合術も可能とのことだが、知覚 異常の程度や2点識別検査などの診査を行い、 診断をしっかり行う必要があるとのことであっ た。智歯の抜歯後の神経障害は患者にとって も術者にとっても精神的に苦痛を伴うもので ある。このような問題が生じないように注意 しつつ、問題が生じた場合は適切な診断と対 応が重要であると改めて感じた。

(村上 慶)



平成25年度臨時代議員会のお知らせ

下記の通り平成25年度臨時代議員会を開催いたしますのでお知らせします。

記

臨時代議員会 日 時:平成25年7月20日(土)午後4時~

会 場:熊本県歯科医師会館 4階ホール

[議事]

第1号議案 裁定審議委員会委員の委嘱に関する件

第2号議案 選挙管理委員会委員、同予備委員の委嘱に関する件

[協議]

1. 時局対策について 2. その他

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



太田 憲生 先生 平成25年5月28日 ご逝去 65歳

●郡 市 名:熊本市

入会年月日:昭和52年3月24日



①今もっとも関心のあることは何ですか。

- ②自分が希望する歯科診療とはどのようなものですか。
- ③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を 教えてください。
- ④今後の抱負は何ですか。

第1種会員



藤本 敦仁 (フジモト アツヒト)

山鹿市鹿央町 合里672-1 ふじもと歯科医院

- ①TPP並びに地域活性化
- ②地域に密着した医療
- ③スタッフが充実し、相互に良好な関係 が築かれている事
- 4分院の展開



新谷 泰之 (シンタニ ヤスユキ)

菊池市隈府434

新谷歯科医院

- ①どのように歯科医院を経営していくか。
- ②患者さんと良好な関係をずっと続けていける事。
- ③特にありませんが、スタッフも患者も 笑顔でいれる医院にしたいです。
- ④健康で仕事を続けていく事。



関 勝宏

熊本市南区 馬渡2丁目1-1 せきかつひろ 歯科口腔クリニック

- ①・我が子供たちの成長と教育
 - ・ 熊本の経済
- ②患者さんの痛みや不安を取り除くのはもちろんのこと、患者さんが生涯にわたって食べること、話すこと、笑うことを心から楽しめるように口腔内から全身の健康をプロデュースすることだと考えております。
- ③口腔外科専門医として、口腔内科的疾患、口腔外科手術、全身管理インプラント前外科処置、インプラントのトラブルケースに対応可能なところだと思います。
- ④地域の皆様、患者さん、スタッフ、家族とより多くの人を幸せにできたらと思っております。











自 平成25年4月22日 至 平成25年5月19日 熊歯会報

所管	日付	摘要	出席
	4 月22日	災害対策検討臨時委員会	浦田会長、小島・宮坂副会長、渡辺 専務理事、全常務理事、田上・大林・ 加藤・松本・牛島・椿理事、伊藤学 院長
		熊本民事調停協会定期総会・懇親会(KKRホテル)	前野調停委員
	24日	第1回理事会 (1)新入会員の承認(2)保存期間を経過した文書の破棄 (3)各郡市会長・専務理事連絡会議開催 ほか	浦田会長他全役員、伊藤学院長
	25日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会(熊本市国際交流会館)	中嶋副会長
	23 🗆	月次監査	片山・西野監事
	27日	福岡歯科大学県同窓会定時総会と故吉田公典先生を偲ぶ会(KKRホテル)	浦田会長
	211	日本大学歯学部同窓会県支部懇親会(アークホテル)	渡辺専務理事、堤顧問
	30日	九州各県次期会長候補者事前打合せ会(福岡県歯会館)	浦田会長
		役員等選挙 理事候補者届出受付開始	
	5月1日	第3回常務理事会 (1) 新入会員の承認 (2) 平成25年度定時代議員会日程の次第及び報告・議事・協議 (3) チラシ等の配布依頼 ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、牛 島理事
総 君	7 日	くま歯キャラバン隊 (荒尾市) (荒尾市・メディア交流館) 受講者: 24名	大林理事
	a H	支払基金幹事会 (支払基金)	浦田会長
	8日	日本プライマリ・ケア連合学会第9回九州支部総会・講習会第2回実行委員会	小島副会長
	9 Н	くま歯キャラバン隊(下益城郡)(ウイング松橋) 受講者:14名	田上理事
		役員等選挙 理事候補者届出受付締切	
	10日	くま歯キャラバン隊 (人吉市) (ホテルサン人吉) 受講者: 21名	松本・椿理事
		第6回選挙管理員会	福田委員長他全委員
	11日	熊本矯正歯科研究会講演会・懇親会 (アークホテル熊本)	渡辺専務理事
	14日	副会長会議	浦田会長、小島・中嶋・宮坂副会長、 渡辺専務理事
		第4回常務理事会 (1)新入会員の承認(2)4階ホール専用プロジェクターの購入 (3)会長予備選挙当選者が推薦した理事候補者の定時代議員会への上程 ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、牛 島理事
	15日	災害対策検討臨時小委員会 (D班)	伊藤学院長、椿理事
	17日	県移植医療推進財団評議員会 (熊本赤十字病院)	浦田会長
学 補	5 月12日	安全な歯科医療を提供するためのバイタルサインセミナー 出席者: 261名 講師:福岡歯科大学麻酔管理学分野教授 谷口省吾先生	浦田会長、小島副会長、椿理事、添 島委員長他6名
社会保険	5月7日	レセプト事前チェックセンター 相談者:1名(FAX・1名)	前田理事、宇治委員
	11日	社会保険個別相談会 相談者:1名	渡辺副委員長他1委員
		九州大学歯学部同窓会県支部社保研修会	勇常務理事
	18日	社会保険個別相談会 相談者: 2 名	田中委員長他3委員
地域保健	5月1日	サンスターとの面談(南阿蘇村) がん連携・高齢者・脳血管疾患の口腔ケアの実技研修の計画、冊子作製補助	田上理事
	9 日	「熊本さわやか大学校」熊本校講演(県総合福祉センター)	齊藤忠継会員
	11日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013くまもと (白川公園)	牛島理事、城・宮本委員
	15日	地域保健小委員会 (1) 高齢者よい歯のコンクール審査 (2) 標準的な成人歯科健診	田上理事、川瀬委員長他1委員





所管	日付	摘要	出席
広 報	4 月22日	広報小委員会 (1)会報5月号・第1回校正	加藤理事、佐藤委員長他3委員
	26日	広報小委員会 (1)会報5月号・第2回校正	加藤理事、佐藤委員長他1委員
	30日	テレメッセ打合せ (1) 5月30日 (木) 放送分	加藤理事
	5 月13日	テレメッセ打合せ (1) 5月30日 (木) 放送分	加藤理事
	16日	広報委員会 (1)会報6月号・編集	加藤理事、佐藤委員長他全委員
W.Tr 1P 41	5月14日	県高等学校保健会第1回理事会(熊本北高校)	宮坂副会長
学校歯科	16日	県PTA教育振興財団審査委員会(県総合福祉センター)	西野監事
	4 月23日	医療相談 紛争事例についての協議	小島副会長、冨屋理事、岡田委員長 他 1 委員
医療対策	17日	医療対策委員会 (1)事例報告検討(2)各郡市医療相談担当者会 (3)平成25年度医療対策年間行事予定 ほか	冨屋理事、岡田委員長他6委員
	4月28日	県重症心身障害児 (者) を守る会記念講演 (くまもと江津湖療育センター)	松本理事
	30日	口腔保健センターカルテ・会計チェック	五島委員
センター・介護	5月1日	サンスターとの面談 がん連携・高齢者・脳血管疾患の口腔ケアの実技研修の計画、冊子作製補助	松本理事
	9 日	委託事業打合せ 在宅歯科医療推進事業の委託についての打合せ	松本理事
	15日	在宅歯科医療推進事業 講師との打合せ (日本大学歯学部)	松本理事
	16日	アクティブネットワーク九州準備委員会	松岡常務理事、松本理事他3名
	17日	県介護保険審査会 (県庁)	宮坂副会長
総務·厚生	5月1日	サンスターとの面談 がん連携・高齢者・脳血管疾患の口腔ケアの実技研修の計画、冊子作製補助	牛島理事
	7 日	総務・厚生小委員会 ガイドブック作成	牛島理事、池嶋委員長他1委員
	4月25日	学院臨床実習指導担当者打合会	浦田会長、伊藤学院長他3名
224 III-	5月7日	熊本市区役所保健子ども課実習打合会	伊藤学院長
学院	10日	第1回学院役職員会	伊藤学院長他2名
	15日	第1回学院運営審議会	浦田会長、伊藤学院長他7名
国保組合	5月9日	第1回全協理事会 (八重洲富士屋ホテル)	浦田理事長

事業課からのご案内

₹01

団体定期(歯科医師会専用グループ保険) のご案内

保険期間 平成24年8月1日から1年間(中途加入できます)

- ★最高「2800万円」保障!無診査で加入OK!
- ★配偶者も1000万円まで加入 OK!
- ★1年更新で配当金は加入者へ還元!
- ★個人保険より団体保険が安い!
- ★入院保障も1日15,000円までOK!

団体定期保険は歯科医師会が契約者になり保険料を一括納付しています。 会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。是非ご加入下さい!

そのZ

個人でご加入の保険も保険料納付は 団体収納扱いでお願いします!

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので、歯科医師会の口座引落しがご利用できます。

保険料が団体割引でお安くなります。ご加入の保険内容に影響はありません。 手続きは簡単です。事務局が代行します。**是非ご利用下さい!**

かんぽ生命 日 本 生 命 朝 日 生 命 メットライフアリコ

第一生命 T&D フィナンシャル生命 富国生命

NKSJひまわり生命

住 友 生 命明治安田生命

アメリカンファミリー生命

三井生命

*詳細につきましては 県歯事務局 TEL:096-343-8020 担当 田尻 までご連絡ください

行事予定

3日(水) 第1回常務理事会

9日(火) 第2回理事会

17日(水) 第2回常務理事会

20日(土) 臨時代議員会

27日(土) 第2回国保臨時組合会



熊本県ご当地よ坊さん

三浦雄一郎さんが80歳でエベレスト登頂最高齢記録を 塗り替えられた。しかも70歳、75歳と通算3回目とのこと である。

まさにスーパー高齢者でただ敬意を表するだけである。 そんな三浦さんもこの5年間は試練の連続であったと のことである。スキー中転倒し負傷され、入院生活。そして 持病の不整脈のため2回手術を受けての偉業達成である。

リハビリがまた半端なく、数十キロにおよぶ重りを身に つけ筋力トレーニングにはげまれたとか…

そのような三浦さんに私がもっとも感動したのは、三浦 さんの健康維持の一つに毎日舌を思いっきり延ばすという のがあるらしいと聞いたことである。

他県の話であるが「あいうべ体操」というのが普及して いる。免疫機能を高め、インフルエンザ予防や花粉症、アト ピー改善など取り組んでいる小学校、患者さんに明らかな 効果を出しているというものである。

この体操の「べ」というのが舌を思いっきり延ばして、舌 関連筋を鍛え、唾液分泌を促し、低位舌を改善させ気道を 広げる効果を狙っており、三浦さんも舌の重要性というの 認識して頂いているのでは。とひとり違う面で喜び、三浦さ んからその事を声を大にして世間に発信して下されば、年 をとったら持病を持つのが当たり前というネガティブな発 想をチェンジしてくれる健康優良高齢者が増えてくれるの ではと期待せずにはいられない。 (T.S)



くまもとサプライズキャラクター『くまモン』 くまもとサプライズ熊本県許可第1086号



発行日/2013年6月14日発行

発行人/浦田 健二

発行所/一般社団法人 熊本県歯科医師会 〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4-15 TEL.096-343-8020 FAX.096-343-0623

URL http://www.kuma8020.com

印刷所/コロニー印刷